

文学部

日本語日本文化学科

No.	テーマ	内容	教員名
1	『竹取物語』の過去・現在・未来	『竹取物語』の主人公は誰？『竹取物語』が一番古い物語？『竹取物語』をめぐるさまざまな謎を取り上げながら、古典文学を研究する方法や意義についてお話してみたいと思います。「古文」が好きな人も、「古文」がちょっと苦手な人も、ぜひ古典文学の面白さや魅力にふれてみてください。	東 望歩
2	幕末維新の日本と世界 《8月まで開講》	社会や文化が大きく変容した幕末維新期、日本人は、世界を、そして自分たちをどのように理解したのでしょうか。この授業では、19世紀における日本知識人や幕末志士たちの思想と行動を主題として、その世界観の転回を見ていきます。このことは同時に、今日のわたしたちが直面しているグローバリゼーションを理解する一つのきっかけともなるでしょう。	桐原 健真
3	日本語音韻史と表記	しりとりはなぜ「ん」で終わると負けなのか、助詞のハはワと読むのになぜ「は」と書くのか、「あいうえお」や「まみむめも」にはなぜ「っ」（濁点）がつかないのか、身の回りの音と表記の「なぜ」について、日本語の歴史的変化の観点から考えます。	中川 美和
4	靖国神社問題と今後の日中関係	靖国神社が、1、天皇のために、2、戦争を遂行する神社として、3 軍人・軍属だけを祀る神社として存在していることを、特に沖縄に焦点を当てながら理解していくことで、外交問題になりがちな靖国問題についての理解を深めます。	樋口 浩造
5	宮澤賢治の詩を味わう	皆さんには好きな詩がありますか。小説に比べて日頃から詩を楽しんでいる人は少数かと思えます。宮澤賢治という作家を知っていて、童話に親しんでいても、その詩には難解なイメージがあるかもしれません。しかし、詩は「わかる」か、ではなく「美味しい」か、で考えるべきと言った詩人もいます。この授業では宮澤賢治の詩を例に、詩の味わい方を学びます。	藤田 祐史
6	日本神話と世界の神話、その不思議なつながり	皆さんは「神話」というものに興味がありますか？『古事記』という本をひも解いてみると、そこに躍動する神々の姿に魅了されることでしょう。さて日本と遠く離れたギリシアや、赤道直下の熱帯の島々に伝わる神話と、日本神話には多くの共通点があることをご存知でしょうか。この授業ではその謎について、歴史の教科書では語られない、一つの壮大な「仮説」をご紹介しますと思います。	船田 淳一
7	図書館学、そして司書資格科目について	大学で司書資格を取得しようと考えている人の中でも、図書館学がどのような学問なのかを知っている人は少ないのではないのでしょうか。そこで、この授業では、図書館学とは何か、司書資格科目ではどのようなことを学ぶのかといった問題について、具体例も交えながら紹介したいと思います。	薬師院 はるみ
8	美術作品を通して文化を学ぶ・伝える 一国宝「源氏物語絵巻」と学芸員の仕事について	平安時代に作られた国宝「源氏物語絵巻」は、美しい紙にしたためられた詞書（テキスト）と、繊細な感覚によって表現された絵からなる、日本を代表する美術作品の一つです。この作品を中心に、「美術史」という研究分野のことや、金城学院大学で取得できる学芸員資格についてお話します。	龍澤 彩

※ 授業は約50分を予定しています。

【お申込み・お問い合わせ】

金城学院大学 入試広報部

電話：0120-331791 e-mail：nyushi@kinjo-u.ac.jp



本学「受験生応援サイト」